

UR都市機構とボーネルンドが健康増進に資する屋外環境の創出による 団地の価値向上の実証に向けた共同研究協定を締結

独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」と）株式会社ボーネルンド（以下、「ボーネルンド」）は、令和5年3月22日に『健康増進に資する屋外環境の創出による団地の価値向上に関する共同研究協定』を締結しました。

【共同研究の概要】

（1）目的

「子育て層への訴求」「ミクストコミュニティの実現」「ウェルフェアの推進」「団地の活性化」等の団地の価値向上に資する取り組みについて、健康増進に資する屋外環境の創出の効果的な活用方策の模索、居住者等のニーズ把握、効果測定等を行い、団地の価値向上に資する効果的な屋外環境の活用モデルを作成することを目的とする。

（2）実施期間

令和5年3月22日から令和7年3月31日まで



フィットネス器具による屋外活用イベント（イメージ）

UR都市機構とボーネルンドは、この共同研究により、団地内の豊かな屋外空間を活用し、幅広い世代の人々の心身の健康増進やコミュニケーションの創出など、団地暮らしを楽しむ空間づくりを進めることで、誰もが住み慣れた地域で生き生きと安心して暮らし続けられるまちづくりの実現を目指します。

<お問い合わせ先>

株式会社ボーネルンド

遊環境営業部 （電話）03 - 5785 - 0860

独立行政法人都市再生機構

本社 住宅経営部ストック活用計画課 （電話）045 - 650 - 0627

本社 広報室 報道担当 （電話）045 - 650 - 0887

共同研究の背景

(1) ボーネルンド

ボーネルンドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開してきました。また、体を動かすことの楽しさが実感できる環境づくりを通して、すべての世代の健康づくりにも取り組んでいます。

共同研究におけるボーネルンドの役割は、UR賃貸住宅でボーネルンドが取り扱うフィットネス器具の設置及び周辺環境づくりを実施し、その利用を通して青年層以上の健康増進やミクストコミュニティ※の実現、団地の活性化等の価値向上に資する可能性についての検証を行うことです。

※多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まち

(2) UR都市機構

UR都市機構は、少子高齢化・人口減少が急速に進展する中で、ミクストコミュニティの実現を目指し、地域資源であるUR賃貸住宅の地域及び団地ごとの特性に応じたコミュニティ活動拠点の整備によるコミュニティ形成の推進といった、多様な活用を推進しています。

加えてUR賃貸住宅での少子高齢化の課題に対応していくために、子育て層への訴求に向けた取り組みを検討していくことは、ミクストコミュニティの実現や団地の活性化を目指していくうえで不可欠です。

このような背景から、UR都市機構は、すべての世代の健康づくりの取り組み実績が豊富なボーネルンドとともに共同研究を行うことにより、ミクストコミュニティの実現や団地の活性化に向けた取り組みを推進していくため、共同研究協定の締結に至りました。

(3) 協定に基づく共同研究内容

- ・健康増進に資する屋外環境の活用に関する実証実験実施内容の策定等
- ・実証実験実施環境の整備（設計施工）・管理
- ・実証実験の実施（イベント実施、データ収集等）
- ・実証実験結果の検証、成果のとりまとめ